

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	システム工学実験第二		
英文授業科目名	Systems Engineering Laboratory II		
開講年度	2008年度	開講年次	3年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	実験	単位数	3
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	システム工学科		
担当教官名	T全教員		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
板倉直明 水戸和幸	

<b>【主題および達成目標】</b>
経営工学、制御工学、電気・電子工学、人間工学など様々な視点から、システム工学について実験を通して習得する。システム工学についての理解を深め、それぞれの分野の能力やスキルを修得することを目標とする。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
特になし。

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
特になし。

<b>【教科書等】</b>
各実験項目毎に資料を配付する。

<b>【授業内容とその進め方】</b>
ガイダンスの後、下記の8項目についてそれぞれ3週間にわたり実験を行う。
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 制御工学</li> <li>2. 経営工学</li> <li>3. 品質・信頼性工学</li> <li>4. 生産システム工学</li> <li>5. アナログ回路</li> </ol>

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

- 6 . デジタル回路
- 7 . ソフトウェア工学
- 8 . 生体情報

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席及び欠席・遅刻・早退、実験への取り組み方、報告書を総合して評価する。

### 【オフィスアワー：授業相談】

各実験項目の担当教員の指示に従うこと。

### 【学生へのメッセージ】

実験の単位を修得するためには、全ての実験に真摯な態度で取り組み、適切な報告書を期日までに提出する必要があります。また、実験前日は十分な睡眠をとり、気力・体力の充実した態勢で実験に望むことを希望します。

### 【その他】

システム工学実験第一と合わせて評価します。